

# 小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	25	施策名	雇用の創出	
小施策コード	25-3	小施策名	勤労者福祉の充実	
小施策 主管課等コード	135000	小施策 主管課等名	経済企画課	
評価責任者名	後藤 敏弘		内線番号	3710
評価シート作成者名	高橋 博文		内線番号	3711

## Step 1 小施策の全体像

### 小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	事業所数の減少や従業員数の縮減などにより、勤労者の生活が不安定になりつつあり、ワークライフバランスの実現や勤労者の福祉向上と生活の安定を図るため、勤労者に対する融資制度や中小企業勤労者への福利厚生事業などの支援が求められている。
取組の方向性	勤労者が安全かつ安心して働くことができるように、労働環境や勤労者福祉の向上を促進する。
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	中小企業の従業員
意図 (対象をどのようにしたいのか)	働きやすくなる

## Step 2 成果指標の推移

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げていくことを目標とする指標, →: 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25 年度 実績 (現状値)	27 年度 実績	31 年度 目標値	36 年度 目標値
A 盛岡市勤労者福祉サービス センター会員数 (↑)	人	4,055	3,972	4,100	4,100
B ( )					
C ( )					

## Step 3 市民ニーズの把握

盛岡市勤労福祉会館等の勤労者福祉施設の利用実績は年々増加していることや盛岡市勤労者福祉サービスセンターの福利厚生事業利用実績が増加していることなどから、勤労者福祉の施策の継続と充実が求められている。

## Step 4 役割分担分析

### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	勤労者福祉施設の運営と勤労者融資制度の実施を行う。	40
	国・県・ 他自治体	共同して勤労者福祉施設を運営（他自治体）する。	20
	市民・ NPO		
	企業・ その他	勤労者福祉施設の利用を促進させる。勤労者福祉サービスセンターの福利厚生事業を充実させる。	40

### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

各主体がそれぞれの役割を果たしていくことにより、問題解決に繋がるものであり、市の役割の比重が拡大したり縮小するということはない。

## Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

盛岡市勤労者福祉サービスセンターの福利厚生事業の利用実績が増加しており、勤労者の福祉の向上に寄与している。

#### (2) 成果をあげた要因

ラジオCMやテレビCMによる周知活動の実施及び対象年齢を引き上げたことによるものと考えられる。

#### (3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

盛岡市勤労者福祉サービスセンターの会員数を更に増加させる。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

勤労者融資制度の利用（貸付実績）が伸びていない。

## **(2) 現状の問題点が生じている原因**

勤労者融資制度の預託先である東北労働金庫のプロパー資金と比較して、貸付金利等の面で優位性があまりないためと考えられる。

## **(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題**

勤労者融資制度をより利用しやすい制度への見直しが必要である。

## **3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）**

- ・ 盛岡市勤労者福祉サービスセンターの会員数については、加入促進員の訪問や、周知 P R をさらに拡大する。
- ・ 勤労者融資制度については、貸付利率の引き下げの検討や、制度を取り扱っている東北労働金の窓口での案内強化などの周知 P R を行う。

## **Step 6 小施策と構成事業の関係性**

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業**  
該当事業なし。
- 2 1 で記載した事業についてその理由**
- 3 1 で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）**